

# 防災訓練

## 大地震を想定した訓練を実施

中部緊急防災協会(会員数59社)は9月2日に大地震発生を想定した防災訓練を愛知、岐阜、三重、静岡、長野の5県下の会員協力で実施しました。

当日は、(一社)日本道路建設業協会中部支部に対策本部を設置し、役員25名が集まり本部長の指示で午前9時に防災宣言発令が各地区責任者に伝達され、それを受けて各地区16班の班長を中心に「緊急用給水タンク」の保管場

所の確認、点検・清掃、及び備蓄資機材の点検確認を行いました。

この訓練は毎年「防災の日」に実施することによって防災意識の向上と、会員相互の緊密かつ有機的な連携、協力の下、防災訓練を実施することにより、迅速かつ的確な応援活動のための連携体制の確立及び防災力の向上を図る目的でおこなっています。



## 静岡班

中部緊急防災隊、静岡地区静岡班は班員10社で編成されています。防災訓練当日は、本部事務局より9時15分に給水タンク保管場所の確認と清掃の指示を受け、10時20分に保管場所に集まり、給水タンクの点検、清掃を行いました。防災隊による給水タンクの設置以来、9月の防災の日

に同様の作業を行い、非常時に給水タンクの出勤が出来るよう訓練をしています。

その後、班員会議を行い、訓練の成果確認と本部への訓練終了の報告を行いました。最後に、災害もなく穏やかな生活が続くことを祈っております。

